

各種米粉が生体に与える影響 —衝動行動の検討—

自給率の向上のために、米粉の食品への利用促進が期待されている。しかし、米粉の利用を促進するためには、米製品の栄養特性を明らかにする必要がある。そこで、精白米、玄米、発芽玄米の特性を明らかにするために情動行動に与える影響について検討した。

研究の内容

精白米

玄米

発芽玄米

膨化処理



25%を混ぜた飼料で長期間飼育

オープンフィールドテストにより活動量の変化を確認

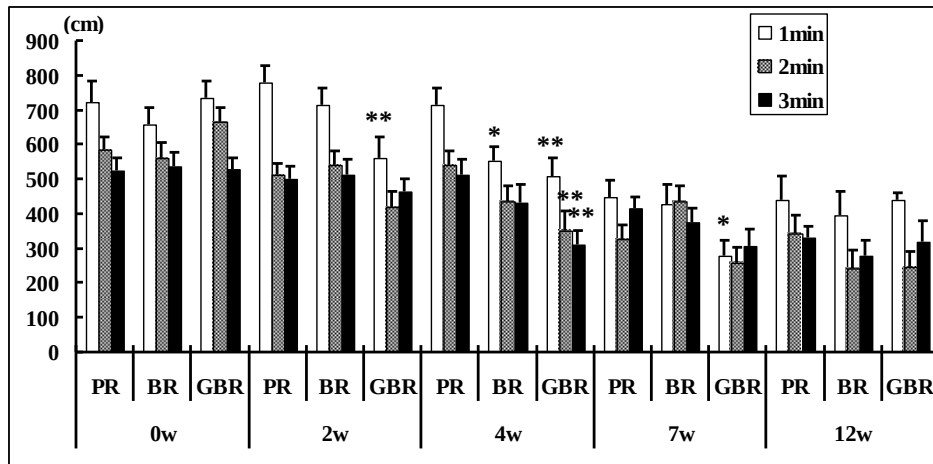


図 オープンフィールドテストによる移動量の変化

発芽玄米の摂取により新奇環境への早期の順化が見られた。

今後の展開

米粉の栄養的特性について研究を行う予定